

## 令和 8 年度一般選抜 A 個別方式（第 2 期）出題意図

### 科目名：英語

- I. 慣用句を文脈の中で出題し，高校卒業レベルの英語力を持っているか，または大学中級程度のより高度な語彙知識を持っているかを問う問題である。
- II. コロケーションも含めた語彙を文脈の中で出題し，高校卒業レベルの英語力を持っているか，または大学中級程度のより高度な語彙知識を持っているかを問う問題である。
- III. 高校卒業レベルの統語力（文構造の理解）を問うており，添えられた日本語の文を正しく表現することが重要となる。設問 12 では文主語としての複合関係代名詞，設問 13 では制限副詞の文頭化による主語と助動詞の倒置，設問 14 では完了動名詞を問うている。
- IV. 自然な会話の流れを追う力を問う問題である。正解は文単位の理解ではなく，文脈全体の把握に基づいている。この会話では，芸術について議論している二人の人物の，互いに対立しながらも最終的には一致していく意見を理解することが求められる。また，全体の状況を視覚的にイメージする力が求められる。
- V. 長文読解における文脈内の意味理解力を問う問題である。全体的な理解力，推論力，そして局所的な理解力が問われている。今回のテーマはビジネスに関するもので，「比較と対比」の理解が重視される内容となっている。問題は単語や単文からだけでは解けないものとなっている。
- VI. 短めの読解文における文脈内の意味理解力を問う問題である。テキスト内の重要な語彙的手がかり（転換語など）を通して理解する力が求められている。今回のテーマは「過程（歴史）」及び「原因と結果」に焦点を当てる内容となっている。
- VII. 文法力を問う問題である。設問 33 では過去完了形，設問 34 では関係代名詞“who”の用法，設問 35 では相関比較構文(the 比較級)，設問 36 では要求・提案の仮定法現在，設問 37 では目的・結果を表す従属接続詞“so that”を問うている。